

平成19年度

原町成年寮地域生活援助センター

(生活支援・就労支援)

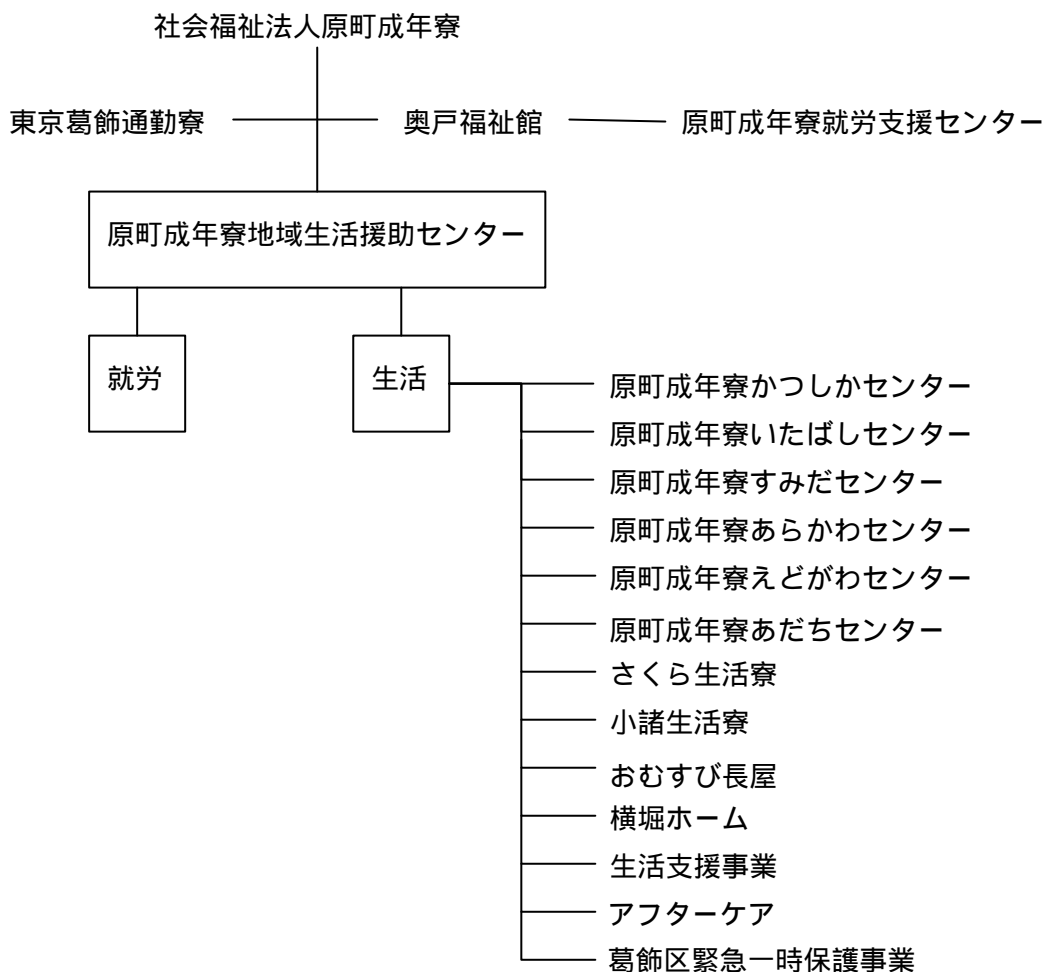
事業計画

社会福祉法人原町成年寮

1・はじめに

平成18年10月、障害者自立支援法が本格実施された。必要な対応を実施していくと共に、ニーズに基づいた改革を実行していく。また社会福祉法人原町成年寮第3次プロジェクトとの整合性を基本としつつ、進んでいこう。

2・体制



3・担当

【生活支援事業】

【アフターケア】

【葛飾区緊急一時保護事業】

【原町成年寮かつしかセンター】

- ・あさぎもえぎチーム：主任もえぎ・あさぎ・第6・ラブ
- ・東立石生生活寮チーム：東立石・こん・東立石
- ・第1原町成年寮チーム：第1オアシス・第9ゆう・ニコール・第3
- ・渋江公園前チーム：主任第2・第4・公園前ステラ
- ・ホームラン
- ・すいか
- ・カノン
- ・トマト
- ・第7原町成年寮

【原町成年寮いたばしセンター】

- ・第1板橋寮
- ・第2板橋寮

【原町成年寮すみだセンター】

- ・たちばな荘
- ・小村井寮
- ・東あずま寮
- ・てんとう虫
- ・かぶと虫

【原町成年寮あらかわセンター】

- ・東日暮里さんま寮
- ・東日暮里かつお寮
- ・東日暮里イルカ寮

【原町成年寮えどがわセンター】

- ・スタートライン
- ・コーラスライン

【原町成年寮あだちセンター】

- ・バスケット
- ・ピスケット

【さくら生活寮】

【小諸生活寮】

【おむすび長屋】

【横堀ホーム】

【クラブ活動】

- ・ナンバーズ

- ・バスケット
- ・ソフトボール
- ・フットサル
- ・芸術

【事務担当】

4・原町成年寮地域生活援助センター事業計画

法人内事業所との連携を重視する。

原町成年寮就労支援センターを奥戸福祉館内に設置する。その構成は奥戸福祉館平成19年度事業計画の図を参照。よってセンター内には就労支援ワーカーは置かない。生活支援ワーカーは担当利用者の就労、日中活動の状況把握と就労支援センターとの連携で必要な援助を実施する。

通勤寮と原町成年寮利用希望者に対して、マネジメント調整を実施する。これは主任会議によって構成される。また必要な情報交換を行う。

個別支援計画・ケース記録のPC入力を実施。

上記に関連して、ケース記録のPC入力に変える。センター、あさもえ、東立石生活寮、奥戸福祉館内就労支援センターに設置。LANで相互に入力できるようにする。また個別支援計画もPC入力を実施。主任を中心に必要な対応を行う。

すみだ、あらかわ、いたばしセンターへの設置も検討する。

葛飾区緊急一時保護事業の直接受け入れ。

立石寮での葛飾区緊急一時保護事業は区の他に、立石寮でも直接的に利用者を受け入れることで合意した。利用者にとって利用しやすくなった。必要な人員配置（介護人日中常時配置）等を実施する。

横堀ホーム、小諸生活寮、おむすび長屋を地元の法人に移管。

将来のためにも実施する必要性が高いので、今年度実施する。

財産管理料等見直す。

5・NPO-KISS事業計画

居宅介護事業所および葛飾区移動支援事業所の立ち上げを実施する。

海外旅行はスペインを中心に実行する。

担当

さくらまつり・自動販売機

会計・キッチンKISS

キッチンKISS・余暇事業

介護事業所・余暇事業